



設立50周年を迎えて

財団法人 畠山文化財団

50周年に当たってのご挨拶

財団法人 畠山文化財団
理事長 島川 文雄



財団法人畠山文化財団は、昭和35年6月6日に株式会社荏原製作所の創立者、畠山一清により、科学技術の研究、普及および振興のための援助、並びに育英奨学事業への援助による教育および学術の発展と、それらによる産業の興隆さらには広く文化の進展をめざして設立されました。以来、50年に亘り、当財団ではこれらの目的を達成するため、毎年各種の助成事業を行ってきました。

今日、日本での私達を取りまく状況は大きな転換期を迎え、解決をはからなければならない重要な問題が山積みしております。これらの問題を解決し、私達が真の豊かさを享受できる社会を構築し、さらに文明の“持続可能な発展”を続けていく為には、調和の取れた科学技術・文化の振興が必要不可欠なものであると思われまます。この様な状況のもと、当財団の役割は益々増大するものと考え、より一層充実した助成事業を続けてまいり所存でございます。

またこれからの50年も、新たな気持ちでしっかりと事業を継続していくことができますよう、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成23年 3月 吉日

財団の概要

名 称	財団法人 畠山文化財団 HATAKEYAMA FOUNDATION
所 在 地	東京都港区白金台二丁目20番12号
設立年月日	昭和35年6月6日
主務官庁	文部科学省
目 的	科学技術の研究を奨励援助するとともに、科学技術の普及振興ならびに理工科系学生の育英奨学事業を援助し、もって教育および学術の向上発展に資し、ひいては産業の興隆を招来し、またひろく文化の振興をはかることを目的とする。
事業の概要	(1) 科学技術の普及振興およびこれを目的とする公私の機関団体および施設に対する援助 (2) 科学技術の研究に関する公私の機関、団体および個人に対する援助 (3) 育英奨学団体を通じての理工科系学生に対する援助 (4) 社会文化の向上に資するための施策および援助 (5) その他目的を達成するために必要な事業
基本財産	株式会社荏原製作所株式 約350万株



畠山 一清 (1881—1971)

能登国主畠山氏の後裔で、東京帝国大学工科大学を卒業、技術者としてポンプの開発に取組み、株式会社荏原製作所を興して実業界に名を馳せました。事業のかたわら、科学技術の研究、普及、振興並びに教育、学術の発展を目指し昭和35年に当財団を設立しました。また、即翁と号して能楽と茶の湯を嗜み、長年にわたり国宝の「林檎花図」「煙寺晩鐘図」をはじめ、大名茶人松平不昧の茶道具や加賀前田家伝来の能装束など優れた美術品の蒐集に努めました。畠山即翁は主として茶事の場において所蔵の美術品を披露してきましたが、その文化的価値に鑑み、恒久的な保存を図るとともに、広く一般の研究鑑賞に資するため、昭和39年に財団法人畠山記念館を設立しました。

設立当初より継続している主な事業



◎ 発明協会「畠山一清賞」受賞風景 常陸宮殿下同妃殿下をお迎えして

1 科学技術の普及振興及びこれを目的とする公私の機関、団体及び施設に対する援助

◎ 社団法人日本機械学会「日本機械学会畠山賞」への助成(50年間継続)

同学会は当財団からの助成金により昭和35年以来、公益事業としての「畠山賞」を実施しています。本事業は毎年全国の国公立大学、短大、工専の機械工学関連学科より人格・学業とも優れた卒業生(原則各1名、合計約350名)の推薦を受け、賞状・副賞を贈りその努力を表彰するものであります。

◎ 社団法人発明協会「畠山一清賞」への助成(43年間継続)

同協会は当財団からの助成金により昭和42年以来、また昭和56年からは(株)荏原製作所からの寄付金も加え、公益事業としての「畠山一清賞」を実施しています。本事業は毎年同協会が行う全国発明表彰において、皇室からの御下賜金を拝受しての象徴的な賞として最も優れた発明等に与えられる恩賜発明賞の受賞者に対して「畠山一清賞」として表彰状及び発明奨励金を贈り、その功績を称えている。

2 科学技術の研究に関する公私の機関、団体及び個人に対する援助

◎ 一般社団法人ターボ機械協会「畠山研究助成金」への助成(21年間継続)

同協会は、当財団からの助成金により平成2年以来毎年「畠山研究助成金」事業を実施しています。本事業は全国の国公立大学、短大、工専及び研究所に勤務する40歳以上の流体機械・流体工学に関する研究者の研究活動、又は特に顕著な後輩の育成活動を対象に毎年1件、公募・選考により賞状・助成金を交付するものであります。

◎ 財団法人畠山文化財団研究助成制度に基づく助成(50年間継続)

当財団は、昭和35年以来、毎年、日本国内の大学・研究機関に所属する研究者及び学識があると認められる個人・グループに対し、その研究内容に関して助成金を交付しています。現在では、①風水力・流体機械 ②環境・エネルギー・バイオマス ③半導体製造装置及びプロセスの3分野を対象に、公募・選考により原則として合計6件の助成を行っています。

3 育英奨学団体を通じての理工系学生に対する援助

◎ 財団法人加越能育英社「畠山奨学金」「畠山育英賞」への助成(50年間継続)

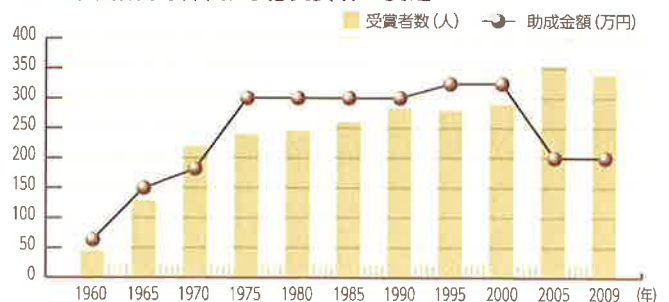
同財団は、当財団からの助成金により昭和35年以来、公益事業としての「畠山奨学金」事業を実施しています。本事業は石川および富山県出身者で、首都圏の大学で理系分野を専攻している学生を対象に公募・選考(原則2名)にて、奨学金を支給するものであります。また平成18年以来公益事業としての「畠山育英賞」も実施しています。本事業は同財団の「学生寮「明倫学館」」に在籍した理系大学卒業生の中から毎年、学問、スポーツ、社会貢献活動等に優れた功績を挙げた者2名を選考し賞状・副賞を贈り表彰するものであります。

4 社会文化の向上に資するための施策及び援助

◎ 石川県「畠山育英資金」への助成(50年間継続)

石川県は当財団からの助成金で昭和35年以来、奨学金事業としての「畠山育英資金」事業を実施しています。本事業は石川県内に居住する高校生で学業優秀であり、かつ学資の支弁が困難である者に対し毎年新規公募・継続を含め25名程度に奨学金を支給するものであります。

◎ 日本機械学会「畠山賞」受賞者の変遷



※グラフは受賞者数と助成金額を5年毎に表したものです。

助成対象団体殿からのお言葉（順不同）

一般社団法人日本機械学会殿

財団法人 畠山文化財団の創立50周年記念式典開催にあたり、お祝いの言葉を申し上げます。
本会では、1960年度より貴財団よりの助成金に基づき『日本機械学会畠山賞』を設け、既に受賞者は12,343名に達しております。創立50周年の節目を契機に、更に産業の興隆と文化の進展に御尽力を賜りますようお願い申し上げます。
貴財団の限りない御発展と、皆様のますますの御健勝、御多幸を祈念申し上げます。

一般社団法人 日本機械学会 会長 松本 洋一郎

社団法人発明協会殿

貴財団の創立50周年、誠におめでとうございます。
貴財団創立者の畠山一清氏は当協会第6代会長でもあり、当協会の戦後復興に大きく寄与されました。
また、昭和42年には貴財団のご支援を得て、当協会の実施する「全国発明表彰」におきまして「畠山一清賞」を創設し、優れた発明者を顕彰しております。貴財団の永年に亘るご支援に深く感謝申し上げますとともに、創立50周年を契機に、貴財団が益々教育・学術の発展にご貢献されることを期待しております。

社団法人 発明協会 会長 豊田 章一郎

一般社団法人ターボ機械協会殿

（財）畠山文化財団殿が創立50周年を迎えられるとの事、誠におめでとうございます。
ターボ機械協会では平成2年以來、「畠山研究助成金」を助成いただく事を通じ、ターボ機械に関する研究の奨励ばかりでなく、研究者・技術者育成に大きな寄与をいただきました。ターボ機械協会は2010年11月一般社団法人ターボ機械協会として再スタートしましたが、今後とも「畠山研究助成金」を通じてターボ機械に関する研究の奨励と研究者・技術者の育成を継続したいと考えておりますので今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

一般社団法人 ターボ機械協会 会長 辻本 良信

財団法人加越能育英社殿

当財団は、学生寮とともに明治12年発足した石川富山両県出身の学生に対する奨学金制度を運営しております。戦後は経済情勢の激変から貸与が困難になり中止せざるをえなくなりました。その時に畠山一清氏の格別のご配慮で助成をしていただくことになり、給付を受けた者は200名をこえ各分野で活躍しております。畠山文化財団の創立50周年に当り感謝申し上げますとともに心からお祝ひ申し上げます。

財団法人 加越能育英社 理事長 谷口 守正

石川県殿

財団法人畠山文化財団が設立50周年を迎えられたことを、心からお慶び申し上げます。
貴財団におかれましては、設立以来、半世紀の永きにわたり本県高校生への奨学金給付事業に対し助成いただき、厚く御礼申し上げます。
貴財団が設立50周年を契機として、今後も更に大きく発展されますことを心から祈念申し上げます。

石川県知事 谷本 正憲

財団の記録

歴代理事長

畠山一清、酒井億尋、松波直秀、藤村宏幸

歴代専務理事

酒井億尋、畠山不器、松波直秀、畠山清二

歴代常務理事

畠山不器、松波直秀、畠山清二、池野一寛、谷島 昶、天谷 博

役員

理事長： 島川文雄

常務理事： 長田憲幸

理事： 服部禮次郎、棚橋祐治、柳田幸男、大橋秀雄、畠山直子

監事： 三羽正人

評議員： 湯浅陽一、荒木田亮次、改田尚三、盛岡 通、山本勝弘、太田正廣

米谷芳枝、神谷 廣